

出張報告書

提出日：令和 4 年 11 月 24 日

報告者名： 山内 正勝

会議名または用件	彦根市ケアマネジメント支援会議
出張日時	令和 4 年 11 月 15 日 13:30 - 15:00
出張先(場所)	くすのきセンター 3階会議室
会議の出席者*1	安食元先生、他、ケアマネージャー、ヘルパーさんなどの支援職の方のお名前は控えておりませんでした。 すみません
概要	土地勘もなく馴染みのない環境で、楽しく生活を送るには
内容	<p>ケース 80代 男性、要介護1 2型糖尿病、便秘症お持ちの患者さんに対して、各職種からできる支援についての検討。 服用薬剤は、ジャヌビア 50mg、フォシーガ 10mg、マグミット 330mg、センノシド 12mg のみ。 会議では服薬中の薬剤についての説明を行いました。 薬剤管理はサ高住の方で、服薬については問題なくできているとのこと。 頻尿 1回/時はあるが、日常に支障はないレベルとの事で、診察は受けていないとのことでした。</p> <p>県外から、長男宅に転居したが、長男との折り合いが悪く、サービス付き高齢者住宅に転居された患者さま。 いろいろな人と話がしたいと思っているが、住宅でも話の出来る人は少なく、趣味の提案、デイサービス、サロンなどの提案も行うものの断っており、周りとのふれあいとしては、ほぼ毎日でかける午後の買い物のみ。 議題の中心は、医療を受ける事の不安ごと、問題ごとではなく、いかに本人が、周りとのふれあいをもてるか、馴染みのない土地で、楽しく生活を送れるか?でした。</p> <p>趣味の将棋については、本人が嫌がるため、提案せず、日常 新聞紙などで、ゴミ箱を作っていることから、それを地域で利用して、本人にやりがいを感じてもらふことや、施設周囲の草むしりをして、畑がしたいと思っておられることを具体的に、菜園や、花を植えてみることに。</p> <p>創作物(ゴミ箱、菜園での収穫物)を地域に紹介して、本人と、地域のつながりをもってもらえるように取り計らってみる試みが提案されました。 家族との折り合いについては、長男の奥さんが、献身的に訪問されていることから、そこをきっかけに、長男との会話が出来るとなればと提案がありましたが、現状ではなかなか先は長そうな状況であるため、家族との折り合いは、ひとまずおいておいて、本人が楽しく生活できることを第一とし</p>

て、問題をクリアしていくことが今回のケースには適しているのではないか
というような結論となりました。

今回のケースでは、薬剤師がかかわることができる問題は見つけれませ
んでしたが、各職種からの問題提起等により、単独職種では思いつかなか
った疑問、解決方法などが提案され、新たな気づきが得られる会議でした。

*1 会議出席者の名簿を添付してください。